

第三級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

(注) 次の各問題の記述について、正誤のいずれかを選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

1. 周波数が高くなるほど、波長は短くなる。
2. 搬送波の周波数を音声信号で変化させると、AM 電波が得られる。
3. 交流を直流に変える装置を整流器という。
4. 給電線とは、送受信機とアンテナを接続する導線のことをいう。
5. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化しない。
6. 相手の電波を受信するとき、聞きやすい音量に調節するのは音量つまみである。
7. 無線電話装置で送話の際、マイクロホンにできるだけ口を近付け、大きな声を出した方がよい。
8. SSB (J3E) 送受信装置で、プレストークボタンを押したとき、直ちに電波が発射される。
9. 超短波 (VHF) 帯の電波を用いる通信では、主として直接波が利用される。
10. 小形木造船は、船舶用レーダーで十分探知できる。